

## 音 樂 部

昨年春、卒業生の後を引継いだ我々音楽部員は、前年の活動不振の面目を一新しようとして張切つたが、何分にも指導職員が居ず、我々の努力も水泡と帰し、思う様な活動も出来ずに、この一年間を過ごしてしまつた。こゝに一年間を振り返り、部活動の跡をたどつて見ると、特筆すべきものは見当たらないが、先ず第一の催しとして、八月、先輩に応援していただいた、Q.Gの音楽番組「木陰の集い」に、

●独唱●高Ⅲ 加賀 昇

曲目 「サンタ・ルチア」

「君が御姿」

●ヴァイオリン●高Ⅱ 古川知義

曲目 「ジューグ」

「ガボツト」

を放送した。その後、待望の音楽教師、平野愛子先生を、白百合学園より講師としてお迎えし、十月十日、県下高校連合音楽に出演、県下唯一の男声四部合唱の名を高めた。曲目は「故郷の家」「山の朝」伴奏、平野愛子先生。特に、「故郷の家」中のソロをした高Ⅱ古川知義が光っていた。

次いで十一月十九日、岩手フイルハーモニック、ソサイテイ主催、国立音楽大学室内楽団演奏会に、部員の外に撰択者も加えて、本校教師、生内義夫先生の指揮の下に、生内義夫作曲「岩手山」を上演し、大好評であつた。我々部員は、この「岩手山」を、部活動の最大のものとして、上演したのである。

願わくは、後輩諸君よ、今後益々岩手高校音楽部を繁栄たらしめる事を望む。